

在日大韓基督教会
宣教100周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

全国女性会 四局合同研修会開催

講演に心が震える喜び与えられる



6月24・25日、全国教会女性連合会の四局合同研修会が、アピカルイン京都にて開催された。研修会は、

午後からのプログラムは、発題から始まった。安成美・宋福姫・崔美恵子の三氏は、それぞれにエキサイティングに、そして、分析的・実践的に教会の現場について語った。参加者からの感嘆と共鳴が会場に満ち、身近な女性たちの意見にそれぞれの思いが重なった。

李禮子氏を講師に迎えての講演では、声に、態度に、講演内容に、キリスト信仰に根ざした温かく深い思いがにじみ出ており、一同の

緊張感はずいぶん解き放たれ、講演にぐんぐん引き込まれた。講演内容は、四局が設定した主題「今、キリストに与えられた関係性に生きる」と副題「世代・ライフスタイル・場所を越える心のつながり」が、一貫して踏まえられたものであった。語ることと聴くことから人も教会も成長することや、具体的な子育て支援が教会の中に必要なこと、さらに問題に直面した時には問題意識をもっている人たちが共に祈ることの大切さが強調された。聖書と信仰が、具体的に実践的な知恵によって解き明かされていくことに、参加者一同、心が震えるほどの喜びを与えられた。

晩祷と早天祈禱会での証しも忘れられないものとなった。闘病と試練を乗り越えた沈真児西部女性会会長の力強さ、また、在日の歴史を生きた具任伊接手執事の精神の澆刺により、参加

者たちには見えない力が分け与えられた。

閉会礼拝では、ヨハネ福音書10:14・15によって「知ることは愛すること」と題したメッセージにおいて、崔浅子伝道師が牧会と電話相談における困難とそれを乗り越えた経験について具体例を出しながら語った。

今回の研修会では、初参加者も多かったが、皆がすぐに親しみ、また自分の考えを述べやすいようにと、最初からグループに分けてディスカッションがしやすき環境を整えた。各グループでの討議を通して、参加者たちの順応性と問題意識が高いことや、信仰と生活の現場で絶えず試行錯誤している様子がうかがわれた。年に一度しかない研修会であるが、多くの女性に喜びと力を与えられた研修会となったことを主に感謝したい。

KCCJ人権シンポジウム開催

主題「宣教100周年を迎えるKCCJと人権」

4月20・22日、在日大韓基督教会(KCCJ)社会委員会、在日韓国基督教会館(KCC)、西南KCC、在日韓国人問題研究所(RAIK)の共催による第14回KCCJ人権シンポジウムが京都・関西セミナールームにて開催された。

KCCJの宣教100周年を記念して、「宣教100周年を迎えるKCCJと人権」というテーマで、KCCJと人権の関係を整理する、具体的な課題を整理する、という四つの目的を共有

し、議論を行った。

第一日目は、鄭然元総会長の開会礼拝の後、丹羽雅雄弁護士を講師に迎え、特別公開講演会が「改定入管法(外国人指紋制度)と在日コリアンの人権」と題して行われた。講演では、在日コリアンの人権が「国民」概念により疎外されてきた経緯や、移住労働者の受け入れに伴う入国・在留管理の再編・強化がなされつつあることが具体的に指摘された。そして、国際人権法の定める人権の享有主体は、あくまで「すべての人間」であり、この人

権の視点を欠落させたままの監視・管理を前提にした政策には意味がないことが確認された。

第二日目は、志村真牧師(中部学院短大宗教主事)による聖書研究「非暴力」の視点から聖書を読む」が分ち合われた後、李清一牧師(KCC館長)が「KCCJの人権活動の歩みと展望」、佐藤信行氏(RAIK)が「移住者・移住労働者の現状と日本」、李恩子氏(関西学院大学客員講師)が「マイノリティ問題と差別の根源」と題してそれぞれ発題を行った。各発題では、KCCJのこれまでの歩みをふりかえると共に、在日外国人問題の現状を確認し、さらには、講演や発題、パネル・ディ

セクシュアル・マイノリティや障がい者との関係において、自らが抑圧する側になる可能性があることなどが改めて確認され、他のマイノリティとの共闘がいかに可能であるかが論じられた。

その後、朱文洪牧師(西南KCC)・河礼子勸士(全日教会女性連合会)・朱喜哲氏(青年会全国協議会)をパネラーに迎えてのパネル・ディスカッションが、今後の在日コリアンの課題「マイノリティ教会の使命」とのテーマでもたれ、それぞれニューカマー・女性・青年の立場から発言し、議論を深めた。

最終日の全体協議では、講演や発題、パネル・ディ

李仁夏牧師が召天

川崎教会にて告別式厳かに



長老による祈禱の後、金健牧師による説教(Ⅱテモテ4:6・8)があった。

説教の中で、金健牧師は、礼拝堂前方中央にあるステンドグラスに描かれた弟子の足を洗うイエス・キリストの姿が見えるように、遺影は中央に飾らないで欲しいとの李仁夏牧師の願いがあったことに触れ、

李仁夏牧師は、そのことに触れ、李仁夏牧師は、そのことに触れ、李仁夏牧師は、そのことに触れ、

李仁夏牧師は、そのことに触れ、李仁夏牧師は、そのことに触れ、

7月2日に約450名が参列して行われた前夜式では、金明植長老による祈禱の後、金健牧師による説教(Ⅱコリント4:5・7)と金鴻植長老による弔辞があった。

翌日3日に行われた告別式には、約200名の参列があった。式では、宋富子

李仁夏牧師は、1925年慶尚北道に生まれ、41年15歳の時に日本に渡った。43年に日本基督教団京都西田町教会において受洗した。46年に日本基督教神学専門学校(現・東京神学大学)に入学した。51年に酒井幸子師母と結婚した後、52年からは多摩川伝道所

年代には、韓日両教会の架

橋の役割を担うと共に、1970年代に始まる韓国教界の民主化運動において、韓国の民主化運動に、韓国キリスト教民主同志会

の日本側代表として身を挺して参与した。

また、李仁夏牧師は、人権宣教の働きにも参与し、日就職差別の法廷闘争「朴君を囲む会」の呼びかけ人共同代表に就任したほか、70・82年にはWCCの人種差別と戦うプログラムを率めて、世界の教会にマイノリティとしての在日の課題を訴える重要な働きを担った。その他、桜木保育園や「ふれあい館」の設立などを通して、地域社会にも貢献した。

神学の分野においては、在日の苦難の歴史や経験に神学を形成する上での重要なコンテキストとして注目すると共に、聖書に出てくる「寄留の民」と在日を結びつけた「寄留の民の神学」を唱えたことにより、在日神学の形成に大きく貢献した。

遺家族には、酒井幸子師母のほか、李省展執事(長男)、李契順執事(長女)と孫たちがいる。

宣教100周年記念合同修養会

日時: 2008年8月13日(水)~15日(金)
場所: 東京プリンスホテル
(東京都港区芝公園3-3-1)
主題: 「感謝の百年、希望の百年」
(Ⅰテサロニケ5:18)
副題: 「遣わされたこの地で宣教に参与する教会」(創世記45:5)
講師: 金仁煥博士(総神大学校 総長)
李清一牧師(在日大韓基督教会 歴史編纂委員会委員)
権五成牧師(韓国基督教教会協議会 総務)
主催: 在日大韓基督教会
主管: 合同修養会実行委員会
参加費: ①宿泊の場合(交通費込)=大人5万円、中高生4万5千円、小学生以下4万円
②宿泊しない場合=大人2万円、中高生7千円、小学生以下7千円
締切: 2008年7月15日(火)
申込み: 各教会を通して総会事務局まで

豊橋教会 創立80周年記念礼拝を開催

懐かしいスライド映像に笑み

4月27日、豊橋教会が創立80周年を迎え、中部地方会と近隣の地域教会の信徒らが集まる中、記念礼拝が行われた。

記念礼拝は、堂会長の朴太元牧師の司会で進められ、朴恩聖牧師(岡崎)による祈禱、朴成根名譽長老による聖書朗読(マタイ16:13-20)の後、豊橋教会信徒一同による特別讃美があった。説教は、前担任牧師の金永秀牧師(在任90、97年。現在、沖繩キリスト教学院大学教授)が「キリストの告白」との題目で行った。また、豊橋キリスト教会の坪井通泰牧師と中部女性会会長の朴惠慶勸士(名古屋)より祝辞があった後、80年を振り返るスライドショーがあり、懐かしい映像に、あちこちで笑みがこぼれた。最後に中部地方会会長の趙尚浩牧師(愛隣)の祝辞をもって記念礼拝を終えた。



豊橋教会の創立80周年記念礼拝の様子。前列には、朴恩聖牧師、朴成根名譽長老、金永秀牧師らが参加している。

李教錫牧師 委任式を挙行

服部正長老 将立式も同時に

京都南部会 京教

5月25日(主日)午後4時、京都南部教会に李教錫牧師委任式と服部正長老将立式が挙行された。

臨時堂会長 李炳燮牧師



京都南部教会での李教錫牧師の委任式と服部正長老の将立式。前列には、李炳燮牧師、李教錫牧師、服部正長老らが参加している。

布施教会、創立50周年記念礼拝

長老将立式と勸士就任式も同時に挙行



李恩順 長老

5月18日、布施教会にて、創立50周年記念礼拝および李恩順牧師の長老将立式、金福善勸士就任式、禹春生名譽勸士推戴式が行われ、礼拝堂は、布施教会の50周年と、長老と勸士の誕生の喜びを分かち合うため

に集った大勢の人びとで一杯となった。

礼拝の始まりと同時に金福善牧師(大阪西成)が角笛を吹き鳴らすと、重みのある音が礼拝堂全体に響き渡り、50周年を迎える布施教会にヨベルの年を告げ知らせた。

記念礼拝は、関西地方会会長であり、堂会長でもある全聖三牧師の司会のもと、金福善牧師(大阪西成)と、金武士牧師(大阪西成)が「人の心がわかる働き」の祝歌の後、任職者に対する



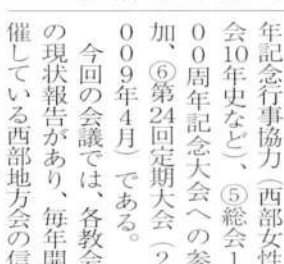
布施教会の創立50周年記念礼拝の様子。前列には、全聖三牧師、金福善牧師、金武士牧師らが参加している。

関東連春の修養会行

山中湖に34名が集う

5月5、6日、山中湖にて、青年会関東地方連合会(関東連)の春の修養会が行われた。参加者は、東京、川崎、横浜、横須賀、大宮の5教会からの青年32名と、牧師2名の計34名であった。

開会礼拝において、朴時永牧師(東京)からメッセージをいただいた後、修養会は始まった。初日は、「クリスチャンである可能性」と題する発題を郭正勲会長が行い、青年たちがさまざまな意見や質問を交わした。発題後には四分団に分かれ、発題について感じたこと



関東連春の修養会。山中湖に34名の青年が集まり、修養会を行った。

信徒研修会開催

中江洋一牧師を講師に



信徒研修会の様子。中江洋一牧師が講師を務めた。

3月19、20日、愛知県大府市のあいち健康プラザにて、中部地方会・女性会合同信徒研修会が「新しい時代に幕を開ける、信仰の継承」を主題で開催された。

講師に中江洋一牧師(広島教会・西部地方会会長)を迎えて開かれた研修会には、約60名が参加した。

中江牧師は、「家庭(教会)における教育の重要性」をテーマに、必要に応じて「教会に必要なたくさん」のテーマで行われた2度の主眼講演において、本場の信仰の継承とは、帰る場所があるということ、その帰る場所をきちんと作っておくこと、そして、イスカリオテのユダのように帰る場所を間違えてはいけない、ということなどを述べた。

その後のグループ討議や全体討論においても、参加した信徒の信仰の継承について、さまざまな意見が出され、真剣な討論がなされる中、宣教100周年における教会のあり方を深く見つめる時間をもった。

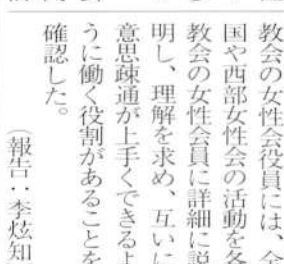
西部女性部会 三役連席拡大

会議を開催

西部地方教会女性連合会の第7回三役連席拡大会議が、5月20日、神戸教会で24名が出席して開かれた。

三役連席拡大会議では、はじめに沈貞児会長から連席会議の意義が語られた後、2008年度の活動方針の内容確認とそれらを具文化するための討議が行われた。

今年の主な活動は、①一



西部女性部会の三役連席拡大会議の様子。24名が出席して開かれた。

YMCA 在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して 2006年4月25日、創立100周年を迎えました。

- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル)：フロントは日・韓・英語に対応、24時間サービス。10名様から220名様会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール：220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャン・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCAアジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

(税込)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592

朝食¥200 カルピック、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒープリ)

東京韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
関西韓国YMCAアジア青少年センター
〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

在日本韓国YMCA
<http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

公告

在日大韓基督教教会 新居居グレース教会
本総会は、イエス・キリストの福音を宣べ伝えるため、李恩希氏より寄贈を受けた左記の土地の所有権移転登記を2008年6月13日に完了し、当法人の名義としたことを公告します。

土地 所在地番：愛媛県新居浜市新須賀町4丁目 甲776番195
地目：宅地
面積：149.15平方メートル
2008年7月1日
在日大韓基督教教会総会 代表役員 鄭然元 書記 金柄鎬

第14回在日大韓基督教教会 人権シンポジウム声明文

2008年4月20、22日、在日大韓基督教教会(以下、KCCJ)社会委員会、在日韓国基督教教会(KC

C)、在日韓国人問題研究所(RAIK)、西南在日韓国基督教教会(西南KCC)は、第14回KCCJ人権シンポジウムを、「宣教100周年を迎えるKCCJと人権―マイノリティ教会としての使命」との主題のもと、京都・関西セミナーハウスにおいて開催した。シンポジウムには、在日大韓基督教教会の関係者を始め、日本キリスト教協議会、外務省問題と取り組む全国キリスト教連絡協議

在留管理の強化は、旧来より日本政府が進めてきた政策の延長線上にあるものであり、国家による、日本国籍者を含めた監視、管理体制構築の一環である。それは、「安全」「安心」の必要性を訴え、危機感を煽りながら、非正規滞在者を徹底的に排除し、在留資格による外国人住民の分断と階層化を進める中で行なわれている。

今年2008年に宣教100周年を迎えたKCCJは、その宣教活動の初期から今日にいたるまで、マイノリティ教会の使命として、人権宣教を担ってきた。KCCJにとって、その働きは、神から与えられた人間の尊厳の回復を求めた宣教活動であった。その中で、KCCJが得てきたことは、人権宣教とは、最も弱い人々、社会の最も弱い部分に目を向けて行う

活動であり、そのような活動を行う中で、すべての人の尊厳が尊重される共生社会をつくること、神から与えられたKCCJの使命であるということであった。新たな時代に向けて、KCCJは、在日コリアン社会の苦難の記憶を掘り起こし、継承していかねばならない。また、丁寧な対話を行う中で、すべての人たちに居場所を提供する信仰共同体へと自らを変えていかなければならない。そして、自らのマイノリティ性についての批判的な検証を続ける中で、マイノリティ性を相対化していく必要がある。マイノリティ性とは、ある権力関係の中で周辺化された状態のことであるが、それは固定化され

たものではない。民族差別、性差別、セクシュアル・マイノリティへの差別、障がい者差別と幾重にも積み重なった差別構造において、自らが抑圧する側に立つ可能性もあることを改めて確認した。このことは、他のマイノリティと共闘するために必要なことであり、とくに、日本政府による外国人住民の分断政策が促進される中でKCCJが真摯に受け止めるべきでない課題でもある。在日コリアンに負わされてきた差別をはじめ、すべての差別は暴力であり、暴力は憎悪の連鎖を生む。それは憎悪を抱く人間自身の人格を歪める。そのことを心に刻みつつ、私たちは、主イエスが示してくださったように、抑圧者を助けること、お互いの励ましあうことから始めました。今年もまた、再会の喜びと、笑顔と笑顔の交わりが、それぞれの教会の宣教の力となることでしょう。

一宮伝道所は、わずかな人数で行われていた、さまざまな家庭礼拝がその始まりでした。しばらくして、一宮伝道所は、一宮聖光教会(聖公会)の協力を得て、主日の午後、同教会において礼拝を行うことが出来るようになりました。そして、1998年7月12日、一宮聖光教会において創立

礼拝をささげ、正式に中部地方の伝道所として、その歩みを始めました。2005年10月23日には、洪領晃牧師の委任式が行われました。

現在、愛知県一宮市北方町において、3階建てのビルの一階を借りて、宣教の働きを行っています。一宮と岐阜のちよと、真ん中にあり、近くを木曽川が流れていて、7月のこの時期には、田植えが終わった後の田んぼの緑が一面に映え、とてもどこかで豊かな自然が残っているところ、伝道所のある辺

り、市町村合併以前には、木曽川町と呼ばれていたところで、「功名が辻」というNHKの大河ドラマの主人公である山内一豊の生まれた場所としても有名です。

一宮伝道所は、その創立当初から現在にいたるまで、たいへん小さな伝道所として活動をしてきました。その構成メンバーのほとんどは、日本で生まれ育った在日韓国人・朝鮮人です。生まれた場所や家庭環境に違いはあっても、それぞれに在日として、日本の社会と対峙しながら生きてきただけに、日本社会の状況の変化や、政治の流れに対して、常に強い関心をもっているといえるでしょう。

牧師除名公告

除名牧師…李相烈
所 属…西部地方会

上記 李相烈牧師は、大韓教会長老会(合同)から、宣教師として派遣されて、2003年6月より、西部地方会 姫路教会で、牧会を執り、教会を、開拓教会を設立したと名目として、計画的に、財政、信徒、信託、人事、各種書類、保管、管理、各種書類、故意に破壊する等の不法行為を行って、西部地方会 姫路教会から、牧師除名の処分を受けたと発表しました。

(2008年1月14日)

それ、そのような宣教活動の中で、ホームレスの人びとや生活保護を受けている人びとと共に礼拝を行い、食事を共に楽しむことができるのは、一宮伝道所にとって本当に幸いなことです。

一宮伝道所は、日本の教会との交わりにおいても、日本基督教団中濃教会と蘇原教会と共に合同礼拝を毎年行っています。それは、小さな教会同士で感謝節に共に食事をもちあわせて喜ぶことができるのは、幸い

たものではない。民族差別、性差別、セクシュアル・マイノリティへの差別、障がい者差別と幾重にも積み重なった差別構造において、自らが抑圧する側に立つ可能性もあることを改めて確認した。このことは、他のマイノリティと共闘するために必要なことであり、とくに、日本政府による外国人住民の分断政策が促進される中でKCCJが真摯に受け止めるべきでない課題でもある。在日コリアンに負わされてきた差別をはじめ、すべての差別は暴力であり、暴力は憎悪の連鎖を生む。それは憎悪を抱く人間自身の人格を歪める。そのことを心に刻みつつ、私たちは、主イエスが示してくださったように、抑圧者を助けること、お互いの励ましあうことから始めました。今年もまた、再会の喜びと、笑顔と笑顔の交わりが、それぞれの教会の宣教の力となることでしょう。

一宮伝道所は、その創立当初から現在にいたるまで、たいへん小さな伝道所として活動をしてきました。その構成メンバーのほとんどは、日本で生まれ育った在日韓国人・朝鮮人です。生まれた場所や家庭環境に違いはあっても、それぞれに在日として、日本の社会と対峙しながら生きてきただけに、日本社会の状況の変化や、政治の流れに対して、常に強い関心をもっているといえるでしょう。

一宮伝道所は、日本の教会との交わりにおいても、日本基督教団中濃教会と蘇原教会と共に合同礼拝を毎年行っています。それは、小さな教会同士で感謝節に共に食事をもちあわせて喜ぶことができるのは、幸い

たものではない。民族差別、性差別、セクシュアル・マイノリティへの差別、障がい者差別と幾重にも積み重なった差別構造において、自らが抑圧する側に立つ可能性もあることを改めて確認した。このことは、他のマイノリティと共闘するために必要なことであり、とくに、日本政府による外国人住民の分断政策が促進される中でKCCJが真摯に受け止めるべきでない課題でもある。在日コリアンに負わされてきた差別をはじめ、すべての差別は暴力であり、暴力は憎悪の連鎖を生む。それは憎悪を抱く人間自身の人格を歪める。そのことを心に刻みつつ、私たちは、主イエスが示してくださったように、抑圧者を助けること、お互いの励ましあうことから始めました。今年もまた、再会の喜びと、笑顔と笑顔の交わりが、それぞれの教会の宣教の力となることでしょう。

一宮伝道所は、その創立当初から現在にいたるまで、たいへん小さな伝道所として活動をしてきました。その構成メンバーのほとんどは、日本で生まれ育った在日韓国人・朝鮮人です。生まれた場所や家庭環境に違いはあっても、それぞれに在日として、日本の社会と対峙しながら生きてきただけに、日本社会の状況の変化や、政治の流れに対して、常に強い関心をもっているといえるでしょう。

一宮伝道所は、日本の教会との交わりにおいても、日本基督教団中濃教会と蘇原教会と共に合同礼拝を毎年行っています。それは、小さな教会同士で感謝節に共に食事をもちあわせて喜ぶことができるのは、幸い

たものではない。民族差別、性差別、セクシュアル・マイノリティへの差別、障がい者差別と幾重にも積み重なった差別構造において、自らが抑圧する側に立つ可能性もあることを改めて確認した。このことは、他のマイノリティと共闘するために必要なことであり、とくに、日本政府による外国人住民の分断政策が促進される中でKCCJが真摯に受け止めるべきでない課題でもある。在日コリアンに負わされてきた差別をはじめ、すべての差別は暴力であり、暴力は憎悪の連鎖を生む。それは憎悪を抱く人間自身の人格を歪める。そのことを心に刻みつつ、私たちは、主イエスが示してくださったように、抑圧者を助けること、お互いの励ましあうことから始めました。今年もまた、再会の喜びと、笑顔と笑顔の交わりが、それぞれの教会の宣教の力となることでしょう。

一宮伝道所は、その創立当初から現在にいたるまで、たいへん小さな伝道所として活動をしてきました。その構成メンバーのほとんどは、日本で生まれ育った在日韓国人・朝鮮人です。生まれた場所や家庭環境に違いはあっても、それぞれに在日として、日本の社会と対峙しながら生きてきただけに、日本社会の状況の変化や、政治の流れに対して、常に強い関心をもっているといえるでしょう。

2008年度後期 宣教師加入・牧師・伝道師考試 公告

本總會 神学・考試委員會は、2008年度後期 宣教師加入・牧師・伝道師の考試を、2009年度考試は、2009年9月に実施する予定です。

一、日時…2008年9月15日(月) 筆記試験 午前9時半～午後6時 (筆記試験後に面接あり)

二、場所…KCC 大阪市生野区中川西2-6-10 電話(06)6731-6801

三、考試科目

☆宣教師加入

①憲法(總會憲法・總會規則・勸懲条例等) ②面接

☆牧師

①旧約神学 ②新約神学 ③旧約概論 ④新約概論 ⑤組織神学 ⑥教理史 ⑦憲法(總會憲法・總會規則・KCCJ神学(在日同胞史・KCCJ史・KCCJ宣教理念)

☆伝道師

①旧約概論 ②新約概論 ③旧約概論 ④新約概論 ⑤組織神学 ⑥教理史 ⑦憲法(總會憲法・總會規則・KCCJ神学(在日同胞史・KCCJ史・KCCJ宣教理念)

四、提出書類

①考試請願書 ②推薦書(所属教会堂會長・地方會長) ③履歷書 ④神学生研修會 參加證明書(伝道師 応募者) ⑤最終學校卒業證明書(卒業予定證明書) ⑥最終學校成績證明書(伝道師応募者) ⑦短期集中講座參加證明書(總會神學校以外神學校出身 牧師考試応募者) ⑧写真3枚

五、考試料

宣教師・牧師 20,000円 伝道師 10,000円

六、提出書類

※考試料は、出願時に總會事務所に送金 ※応募者は、神學考試委員長 或は總會事務所外に、試験範囲に 対し 問議 合 意 する べし。

※旅費は、該教會 或は 該機關に 補助 金 として 支給 する べし。

2008年7月1日

神學考試委員長 金 武士

在日大韓基督教教会 總 會 長 鄭然元

治理局局長 金柄鎬

2008年7月1日

在日大韓基督教教会 總 會 長 鄭然元

治理局局長 金柄鎬

2008年7月1日

在日大韓基督教教会 總 會 長 鄭然元